

## 個人山行

# ツール・ド・モンブラン

- とき : 2019年 7月 20日(土) ~ 28日(日)
- 天候 : 晴れ
- メンバー : 5名(女性:5名)
- コース
- 1日目 成田発カタール航空にてカタールのドーハへ
  - 2日目 ドーハで乗り継ぎ、スイスのジュネーブ着。専用車でフランスのシャモニへ
  - 3日目 エギーユ・デュ・ミディ展望台~モンタンベール~シャモニ
  - 4日目 グラシエ谷~モッテ小屋~セーニュのコル(フランス/イタリア国境)~エリザベッタ小屋
  - 5日目 コンバル湿原~シェクルイのコル~クールマイユール
  - 6日目 路線バスでアルヌーバ~エレナ小屋~フェレのコル(イタリア/スイス国境)~トリアン
  - 7日目 バルムのコル(スイス/フランス国境)~ル・トゥール~シャモニ
  - 8日目 シャモニ自由行動~ジュネーブ空港~カタール航空でカタールのドーハへ
  - 9日目 ドーハで乗り継ぎ成田へ~成田着



成田空港でスーツケースハブニング



ドーハ、大きな空港です



シャモニにて。モンブランを指す開拓者像



ホテル前の派手な牛



シャモニー(1035m)から途中で乗り換えてエギーユ・デュ・ミディ展望台へ



2800mある高度差を一気に登るロープウェイは1955年に建築されました。



山頂より雪稜を歩くアルピニストたちが見えた



遠くマッターホルンが見えました  
素晴らしい針峰群に息をのむ



グランドジョラス左端は北壁。右端の尖がりは巨人の歯と呼ばれます。



展望台からの壮観なモンブラン



ボソン氷河



ピクニックランチは最高



尖峰ドリユ



グランドジョラスとメール・ド・グラス氷河



本場エスカルゴは絶品でした



ホテルからモンブランの夕焼け



グラシエ村のチーズ小屋



セーニュのコル 国境を超える



岸壁に穴が開いているのは要塞。こんな美しい山に戦争の爪痕がありました。



マーモットの巣穴が大きく、ルート上だとハマりそうになることも。



サウンドオブミュージック



雪渓がありました



エリザベッタ小屋



ニガヨモギのお酒をたしなむ



トレ・ラ・テート針峰とレックス・ブランシュ氷河



コンバル湿原。



ツールドモンブランのコースはバラエティに富みます。



シクルイの科尔へ向かいます



グランドジョラスをバックに



クライマーが落ちてくる



グランドジョラスに広がる絶景  
ご一行様全員集合



イタリアンランチ



シェクルイのコルにあるメゾン・ヴィエイユ小屋



千手観音ここにあり  
ここからロープウェイでクールマイユールへ下る



クールマイユールのホテルよりグランドジョラス



本場イタリアンで盛り上がる



すべて美味しいけれど食べきれませんでした



笑顔だけど足が痛いねん、明日のことが不安やねん



何とか別行動で



氷河をまとったイタリア・フランス・スイスの三国国境地点となるモンドレンをバックに



谷氷河（フェレの谷）が美しい



フェレのコル 国境イタリア側



国境スイス側



最後のピクニックランチ



イタリアからスイスへ手をつないで超えます。よいしょっと



牧草地のブーリー小屋でフレッシュミルクをいただく



ショートカットルートをゆく



トリアンのBARでまず1杯



トリアンの村の壁にあったツールドモンブランのマップ



ガイドさんとほぼマンツーマン



大きな牧草。発酵して火がでることもあるそうです



日本の樹林帯の様だった



元気復活！？



バルムのコル。見えているのに遠い



コルが近づくにつれフランス側のモンブランが！



バルムのコルにて名残惜しい景色  
6日間よく歩きました



スイス側の国境



フランス側の国境



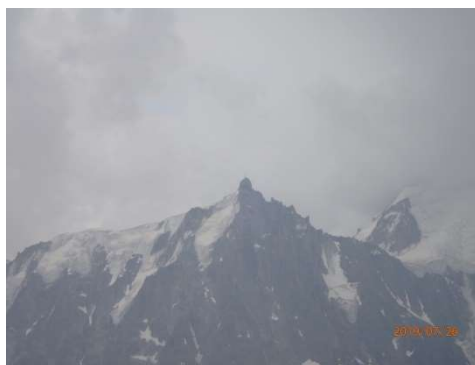
シャモニーへ戻ります



ゴール目指して



ロープウェイでプレバンへ  
ボソン氷河が迫力の高さで



エギーユ・デュ・ミディも目の前に  
雷鳴の為急いで下ります



シャモニーでの最後の夜  
美味しかったね、楽しかったね  
一寸酔っちゃいました



アデノスティレス・アリアリアエ



キルシウム・スピノシスシムム



レウカンテモプシス・アルピナ



シラタマソウ



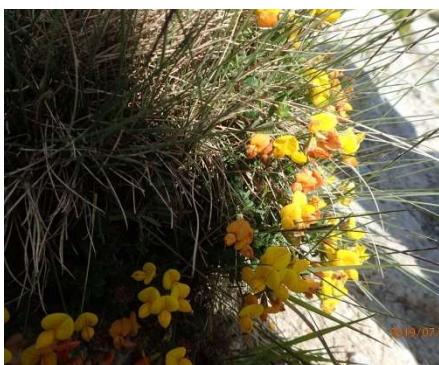
リリウム・マルタゴン



サクシフラガ・プリオイデス



ケラスティウム・ラティフォルム



ロトゥス・アルピヌス



ケンタウレア・ネルボサ





マツムシソウ



チョウノスケソウ



ニグリテラ・ニグ



ゲンティアナ・オルビクラリス



イワカガミダマシ



ニグリテラ・ニグ



ユキワリザクラ



エーデルワイス



りんどう